

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年4月30日(2020.4.30)

【公表番号】特表2017-538853(P2017-538853A)

【公表日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-050

【出願番号】特願2017-548329(P2017-548329)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/44 (2006.01)

C 0 8 G 18/73 (2006.01)

C 0 8 G 18/65 (2006.01)

C 0 8 G 18/08 (2006.01)

C 0 8 G 18/22 (2006.01)

A 6 1 F 6/18 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/44

C 0 8 G 18/73

C 0 8 G 18/65 0 1 1

C 0 8 G 18/08 0 3 8

C 0 8 G 18/22

A 6 1 F 6/18

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年3月17日(2020.3.17)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

e) 1種または複数の触媒

の存在下、

a) 10～40質量%の含量を有する1, 6 - ヘキサメチレンジイソシアネート、

b) 25～65質量%の含量を有する800～2500g/molの間の数平均分子量を有する少なくとも1種のポリカーボネートジオール、

c) 鎖延長剤としての1, 6 - ヘキサンジオール、1, 8 - オクタンジオール、10デカンジオールおよび/または1, 12 - ドデカンジオール、

d) 場合により、連鎖停止剤としての一官能性アルコール、

で調製された熱可塑性ポリウレタンエラストマーであって、

f) 成分a)～d)で調製された熱可塑性ポリウレタンの質量基準で0～35質量%の範囲の無機充填剤、

g) 0.05～2.0質量%の範囲の抗酸化剤、

h) 場合により、さらなる添加剤および/または補助物質

が追加されており、但し、

a) のイソシアネート基と、b)、c) および場合によりd) のイソシアネート反応性基の比は0.9:1～1.1:1であり、

熱可塑性ポリウレタンエラストマーは、無機充填剤を含まない場合90MPa超の曲げ弾性率を有し、無機充填剤を含有する場合100MPa超の曲げ弾性率を有する、

熱可塑性ポリウレタンエラストマー。

【請求項 2】

前記触媒が、ビスマス触媒またはチタン触媒である、請求項1に記載の熱可塑性ポリウレタンエラストマー。

【請求項 3】

前記ポリカーボネートジオールが1000～2100g/molの数平均分子量を有する、請求項1または2に記載の熱可塑性ポリウレタンエラストマー。

【請求項 4】

前記鎖延長剤が1,8-オクタンジオール、1,10-デカンジオールおよび/または1,12-ドデカンジオールである、請求項1から3のいずれか一項に記載の熱可塑性ポリウレタンエラストマー。

【請求項 5】

硫酸バリウムが無機充填剤として使用される、請求項1または2に記載の熱可塑性ポリウレタンエラストマー。

【請求項 6】

離型剤および/または抗酸化剤が添加剤または補助物質として使用される、請求項1から5のいずれか一項に記載の熱可塑性ポリウレタンエラストマー。

【請求項 7】

e) TIPT触媒

の存在下、

a) 19.5～21.5質量%の含量を有する1,6-ヘキサメチレンジイソシアネート、

b) 60.0～62.0質量%の含量を有する1900～2100g/molの間の数平均分子量を有する1,6-ヘキサジオールに基づくポリカーボネートジオール、

c) 16.5～18.5質量%の含量を有する1,12-ドデカンジオール、

で調製されており、

f) 成分a)～c)で調製された熱可塑性ポリウレタンの質量基準で0～35質量%のBaSO₄

、

g) ペンタエリスリトールテトラキス(3-(3,5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシフェニル)プロピオネート)、

h) 場合により、さらなる添加剤および/または補助物質

が追加されている、請求項1から6のいずれか一項に記載の熱可塑性ポリウレタンエラストマー。

【請求項 8】

e) TIPT触媒

の存在下、

a) 19～21質量%の含量を有する1,6-ヘキサメチレンジイソシアネート、

b) 58～60質量%の含量を有する1900～2100g/molの間の数平均分子量を有する1,4-ブタンジオールと1,6-ヘキサジオールの混合物に基づくポリカーボネートジオール、

c) 18.8～20.8質量%の含量を有する1,12-ドデカンジオール、

で調製されており、

f) 成分a)～d)で調製された熱可塑性ポリウレタンの質量基準で0～35質量%のBaSO₄

、

g) ペンタエリスリトールテトラキス(3-(3,5-ジ-tert-ブチル-4-ヒドロキシフェニル)プロピオネート)、

h) 場合により、さらなる添加剤および/または補助物質

が追加されている、請求項1から7のいずれか一項に記載の熱可塑性ポリウレタンエラストマー。

【請求項 9】

請求項1から8のいずれか一項に記載の熱可塑性ポリウレタンエラストマーで形成されていることを特徴とする、子宮内システム用T型フレーム。

【請求項 10】

活性化化合物を含むカプセルを保持するために垂直軸上に係止部品を含むことを特徴とする、請求項9に記載の子宮内システム用T型フレーム。

【請求項 11】

超音波視認性を高めるための金属リングを含有することを特徴とする、請求項9または10に記載の子宮内システム用T型フレーム。

【請求項 12】

子宮内システム用T型フレームを製造するための請求項1から8のいずれか一項に記載の熱可塑性ポリウレタンエラストマーの使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

本発明は、

e) 1種または複数の触媒

の存在下、

a) 10～40質量%の含量を有する1,6-ヘキサメチレンジイソシアネート、

b) 25～65質量%の含量を有する800～2500g/molの間の数平均分子量を有する少なくとも1種のポリカーボネートジオール、

c) 鎖延長剤としての1,6-ヘキサジオール、1,8-オクタジオール、10デカンジオールおよび/または1,12-ドデカンジオール、

d) 場合により、連鎖停止剤としての一官能性アルコール、

で調製された熱可塑性ポリウレタンエラストマーであって、

f) 成分a)～d)で調製された熱可塑性ポリウレタンの質量基準で0～35質量%の範囲の無機充填剤、

g) 0.05～2.0質量%の範囲の抗酸化剤、

h) 場合により、さらなる添加剤および/または補助物質

が追加されており、但し、

a)のイソシアネート基と、b)、c)および場合によりd)のイソシアネート反応性基の比は0.9:1～1.1:1であり、

熱可塑性ポリウレタンエラストマーは、無機充填剤を含まない場合90MPa超の曲げ弾性率を有し、無機充填剤を含有する場合100MPa超の曲げ弾性率を有する、

熱可塑性ポリウレタンエラストマー

により、上記課題を解決する。